

ロボアプリパートナー向け

お仕事かんたん生成2.0での ロボアプリ連携方法

0.はじめに

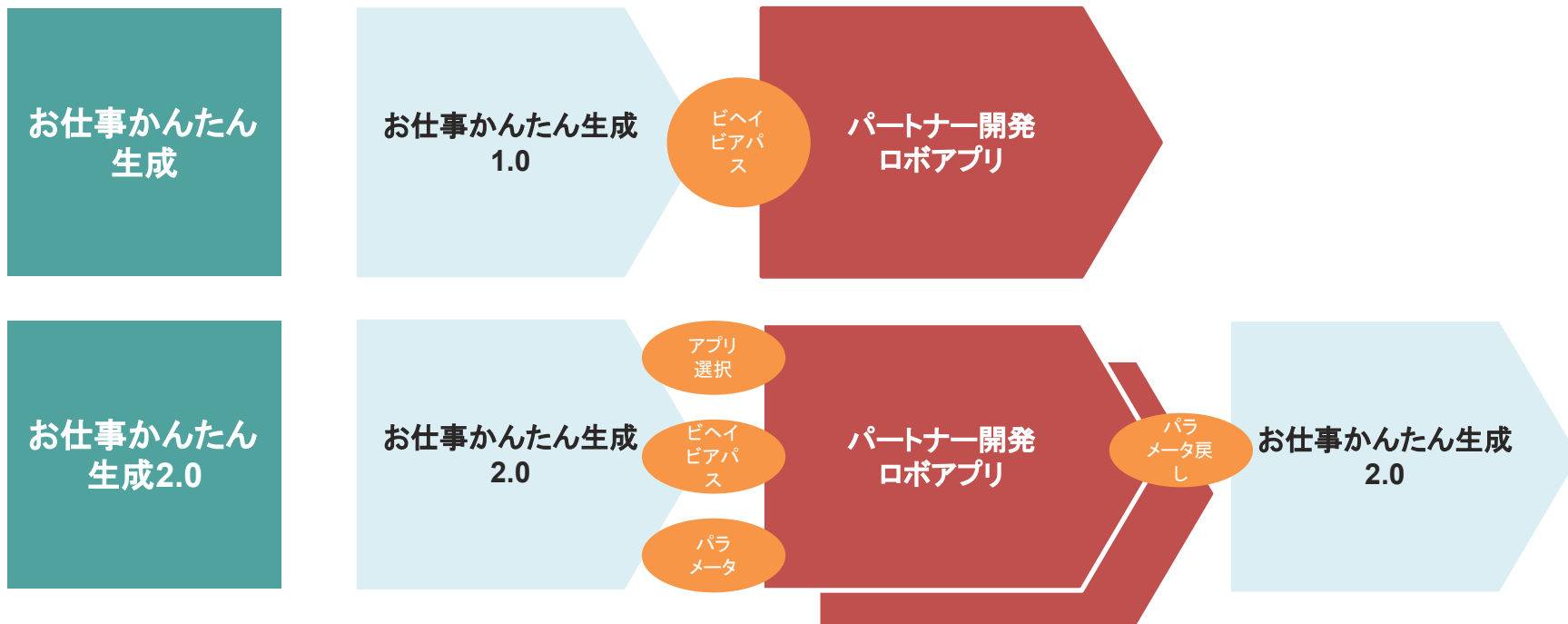
- 2017年11月30日(木)にお仕事かんたん生成2.0がリリースされます。本リリースにより既存システムの変更が必要になるため、その作業について記載致します。
 1. お仕事かんたん生成2.0でのロボアプリ起動
 1. ロボアプリの起動・終了
 2. ボックス一覧
 3. 全体マップ
 4. 公式アプリとベンダアプリの画面イメージ
 5. 公式アプリとベンダアプリの仕様比較
 2. 設定方法
 1. データ連携方法
 2. 起動モード
 3. 戻り値
 4. パラメーター
 5. パラメーター授受仕様詳細
 3. 例外・エラー対応
 4. 依頼事項

1.お仕事かんたん生成2.0でのロボアプリ起動

1-1.ロボアプリの起動・終了

- お仕事かんたん生成2.0上ではパートナーが開発したロボアプリを起動、終了するのに選択肢が増え、高度なアプリ連携が実装可能となりました。
- 以下は現在のお仕事かんたん生成との違いについて記載したイメージとなります。

ロボアプリを起動・終了する方法の違い



1-2.ボックス一覧

- お仕事かんたん生成2.0ではお仕事を作成する際に標準で公式アプリが「公式アプリ」ボックスとして登録されております。また、ベンダーが個別開発したロボアプリについても「ベンダーアプリ」ボックスを利用して起動させることができます。
- 公式アプリに登録されたロボアプリはビヘイビアパスを指定することなく、ユーザがロボアプリを選択するだけで起動させることが可能です。

ボックス一覧 ?

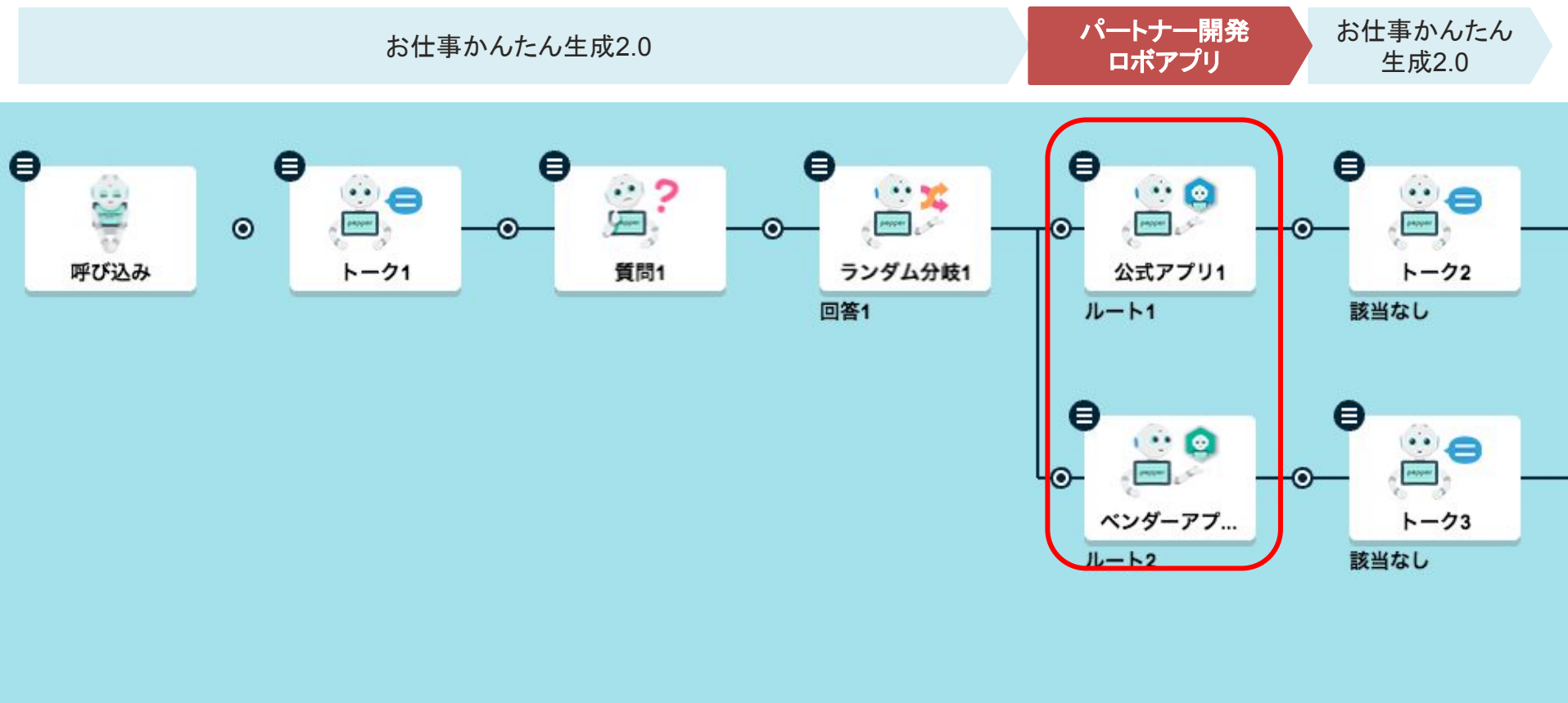
各ボックスをクリックして配置できます。



SBR基本アプリやロボアプリマーケット for Bizが含まれます

1-3.全体マップ

- お仕事かんたん生成2.0では全体マップ上にお仕事ボックスを選択することで、複数の個別開発アプリを指定することが可能です。また、パラメーターを受け渡すことにより起動や終了についても制御が可能になりました。公式アプリボックスを2つ連続でつなげるといった使い方も可能になりました。(ロボアプリ側が対応している場合)



1-4.公式アプリとベンダーアプリの画面イメージ

- 両アプリの画面イメージについては以下の通り。公式アプリについてはユーザ側の設定が容易になりました。

公式アプリ





ベンダーアプリ



1-5.公式アプリとベンダーアプリの仕様比較

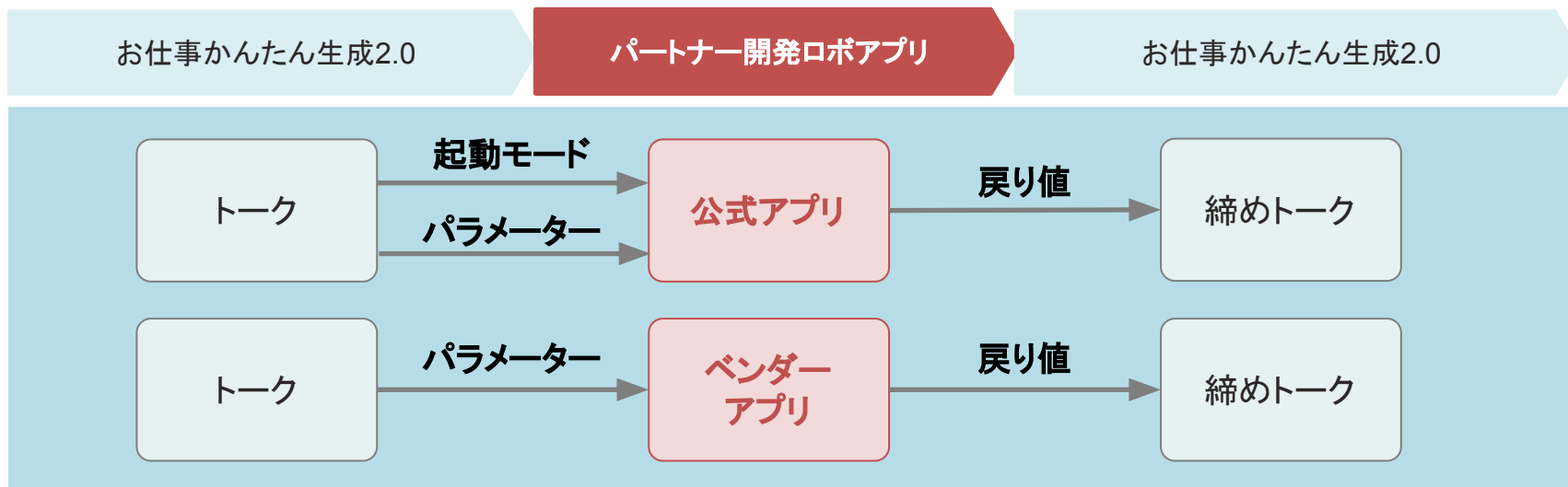
- 公式アプリと、ベンダーアプリの仕様の違いは下記の通りです。

項目		 公式アプリ	 ベンダーアプリ
対象ロボアプリ		・SBR基本アプリ ・ロボアプリマーケット forBizアプリ	・個別開発アプリ
ロボアプリ配信方法		ADE ※申請が必要	ロボアプリ配信管理(マイアプリ,パートナーアプリ)
アプリ指定		可(ユーザ全員可能)	不可(ビヘイビアパスを知るユーザのみ)
機能	起動モード	○	-
	パラメーター	○	○
	アプリ終了後の分岐設定	○	○
リスト化 /テンプレート化	新規	SBRによる事前設定(ロボアプリマーケット公開時に自動設定) ※アプリケーションID変更時含む	ユーザによる都度設定(ビヘイビアパス指定)
	更新	申請(SBRにてマスタDBを更新)	ユーザによる都度設定(ビヘイビアパス修正)
	削除	申請(SBRにてマスタDBから削除)	ユーザによる都度設定(ベンダーアプリ削除)
	設定リードタイム	調整中	即時
	その他	パラメータ授受に関わる仕様変更の場合は十分なテストを実施ください	
OS(NAOqi/Android)バージョンアップ		ロボアプリが対応しない場合、ロボアプリリストから削除	対応可否はパートナー判断

2.設定方法

2-1.データ連携方法

- お仕事かんたん生成2.0とベンダーが開発したロボアプリがデータ連携することで、より柔軟な振る舞いを設定することが可能です。



連携タイミング	項目	内容	公式アプリ	ベンダーアプリ
入力	起動モード	連携されるアプリ起動側に起動モードを持たせ、お仕事2.0の起動モード指定することで、アプリの動作を振り分けることが可能である。	○	-
	パラメーター	連携されたアプリにパラメータを引き渡すことで、パラメータに応じたアクションをすることができる。	○	○
出力	戻り値 (アプリ終了後の分岐設定)	連携されたアプリの動作に応じた戻り値をお仕事 2.0 に返すことで、アプリ動作結果に応じたアクションを設定できる。	○	○

2-2. 起動モード

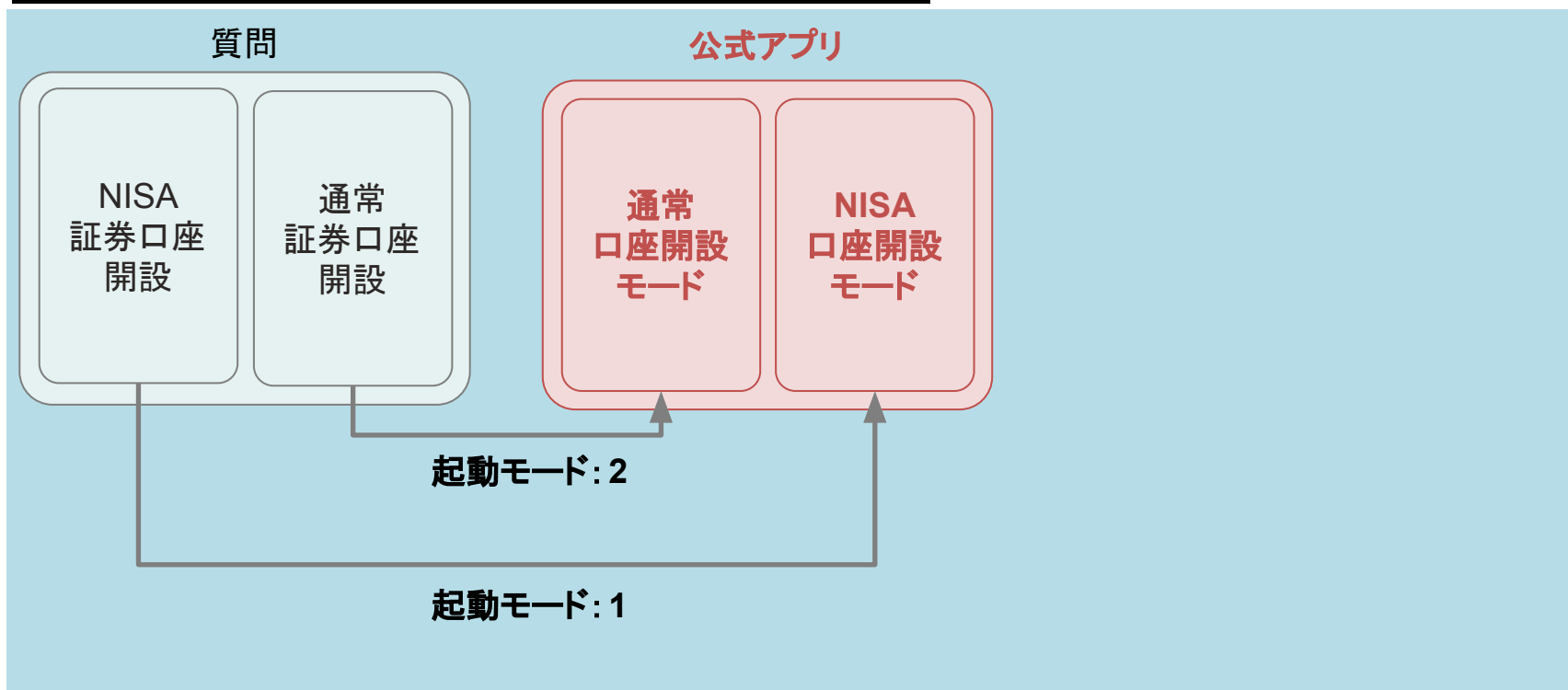
- ユーザ管理者は公式アプリボックスの項目「種類(起動モード)を選択」から起動モードを登録することで起動方法を変更することが可能です。

お仕事かんたん生成2.0

パートナー開発ロボアプリ

お仕事かんたん生成2.0

起動モードの違いによるアプリ起動方法(例)



2-2. 起動モード(画面イメージ)

公式アプリ1

ボックスを保存 × 閉じる

アプリ設定

メモ

ヘルプを表示

アプリ設定

アプリのカテゴリを選択

すべて

アプリを選択 (必須)

証券アプリ

種類 (起動モード) を選択

起動モード1

パラメーターを入力

アプリ終了後の分岐設定 ※条件にマッチしない場合は"該当なし"に遷移します。

分岐名	戻り値
+ 分岐を追加する	

関係サイトリンク

アプリ購入ページ

アプリ設定ページ

配信管理ページ

起動モード(アプリ側で設定)を選択しパラメータを登録が可能

分岐を入れ、戻り値の灯籠が可能

選択したロボアプリに関連したページへのリンクボタンが有効になる

2-3. 戻り値

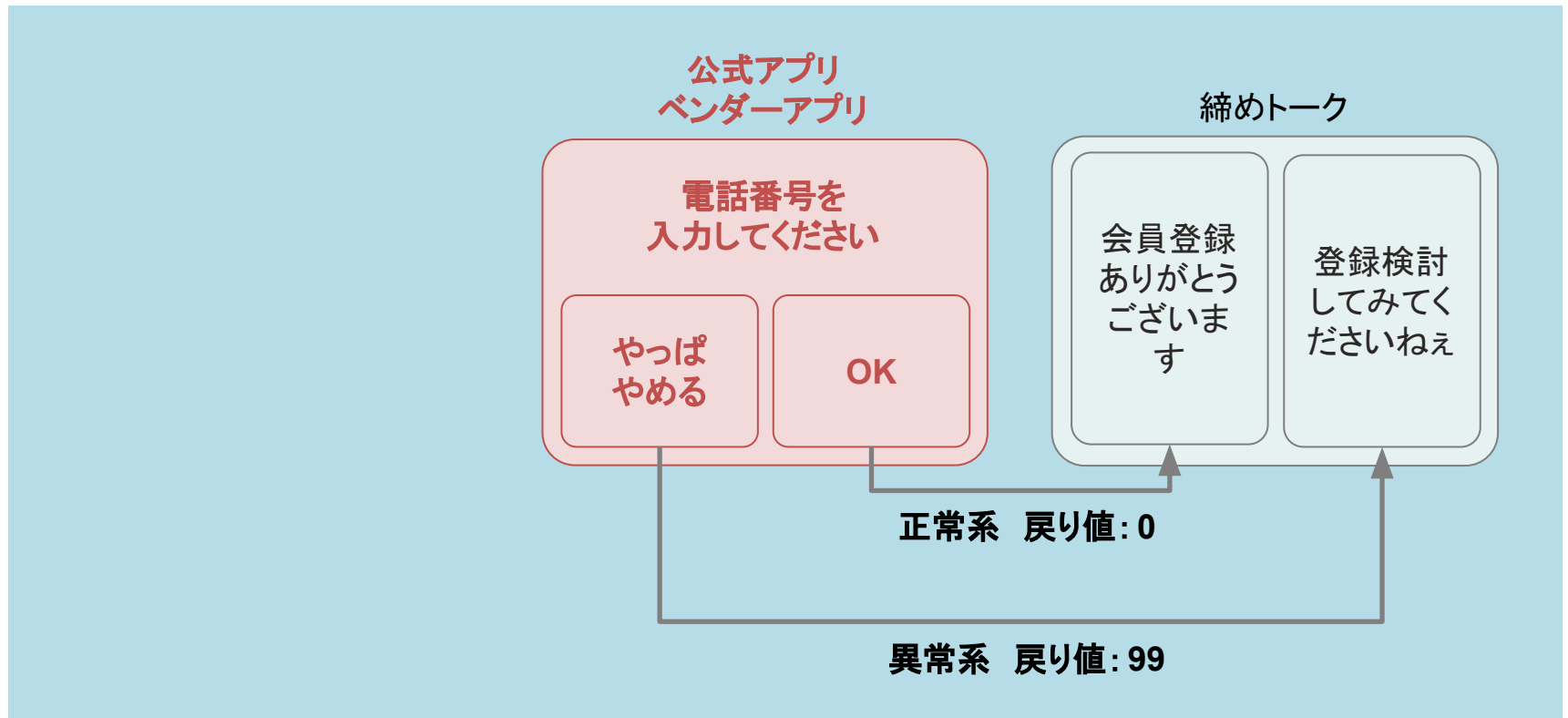
- ユーザ管理者は公式アプリ・ベンダーアプリボックスの項目「アプリ終了後の分岐設定」から戻り値を設定し終了後に指定した基本ボックスを起動させることが可能です。

お仕事かんたん生成2.0

パートナー開発ロボアプリ

お仕事かんたん生成2.0

戻り値の違いによるアプリ終了後の挙動(例)



2-3. 戻り値 (画面イメージ)

ベンダーアプリ1

ボックスをプレビュー ボックスを保存 × 閉じる

アプリ設定 メモ

? ヘルプを表示

アプリ設定

ビヘイビア名を入力 (半角) (必須) パラメーターを入力

アプリ終了後の分岐設定 ※条件にマッチしない場合は"該当なし"に遷移します。

分岐名 (必須)	戻り値 (半角数字) (必須)	
正常系	0	
異常系	99	

+ 分岐を追加する

個別開発したアプリの終了後のアクションを指定可能

2-4. パラメーター

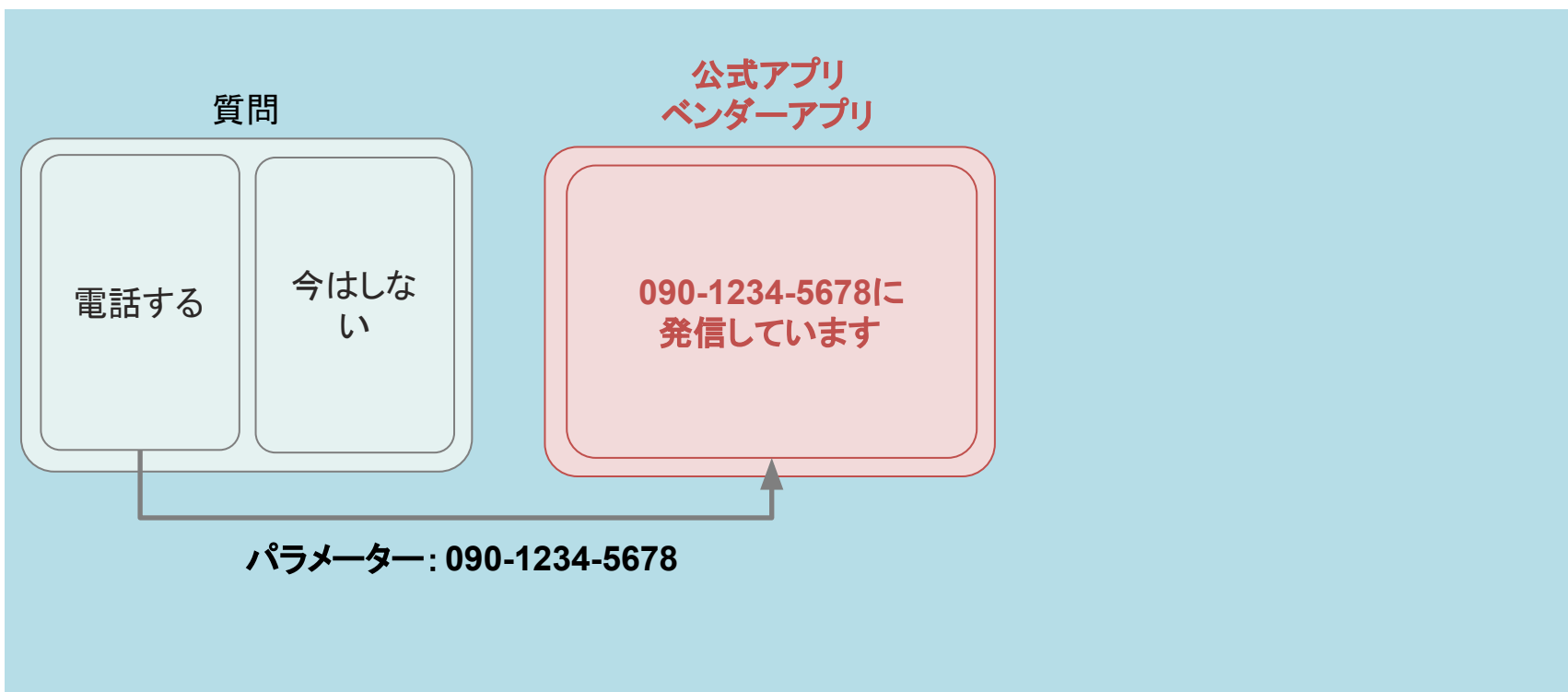
- ユーザ管理者は公式アプリ・ベンダーアプリボックスの項目「パラメーターを入力」からパラメーターを設定し、アプリ起動と同時に電話をかけるといったことが可能です。

お仕事かんたん生成2.0

パートナー開発ロボアプリ

お仕事かんたん生成2.0

パラメーター付与によるアプリ起動の挙動(例)



※ パラメーターはカンマ区切りで複数設定可能

2-4. パラメーター(画面イメージ)

The screenshot shows the 'ベンダーアプリ1' (Vendor App 1) settings page. At the top, there are three buttons: 'ボックスをプレビュー' (Preview box), 'ボックスを保存' (Save box), and '× 閉じる' (Close). Below these is a dark blue bar with 'アプリ設定' (App Settings) and a 'メモ' (Memo) icon. A 'ヘルプを表示' (Show help) link is on the right. The main content area is titled 'アプリ設定' (App Settings) and contains two sections: 'ビヘイビア名を入力(半角) (必須)' (Enter behavior name in half-width characters, required) with a text input containing 'pepper_app/behavior.xar', and 'パラメーターを入力' (Enter parameter) with a text input containing '090-1234-5678'. The parameter input is highlighted with a red box, and a callout box points to it with the text '起動時にアプリにパラメータを付与する' (Assign parameters to the app at startup). Below these is the 'アプリ終了後の分岐設定' (Branch setting after app completion) section, which includes a note: '※条件にマッチしない場合は"該当なし"に遷移します。' (If it does not match the condition, it will transition to 'None'). It has two input fields: '分岐名 (必須)' (Branch name, required) and '戻り値(半角数字) (必須)' (Return value, half-width numbers, required). At the bottom, there is a dashed box with a '+ 分岐を追加する' (Add branch) button.

ベンダーアプリ1

ボックスをプレビュー

ボックスを保存

× 閉じる

アプリ設定

メモ

ヘルプを表示

アプリ設定

ビヘイビア名を入力(半角) (必須)

pepper_app/behavior.xar

パラメーターを入力

090-1234-5678

起動時にアプリにパラメータを付与する

アプリ終了後の分岐設定 ※条件にマッチしない場合は"該当なし"に遷移します。

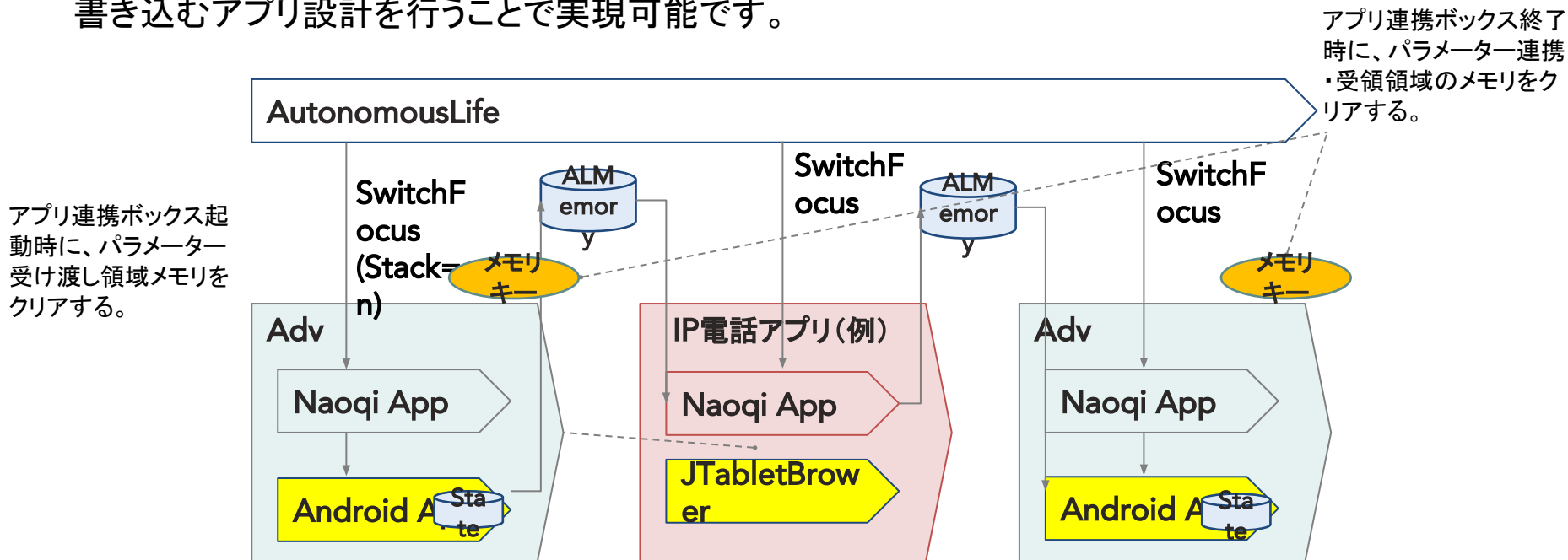
分岐名 (必須)

戻り値(半角数字) (必須)

+ 分岐を追加する

2-5. パラメーター受渡授受詳細

- パラメーターを利用したロボアプリを開発するにはロボアプリの起動、終了時ALMemoryを参照、書き込むアプリ設計を行うことで実現可能です。



受け渡しタイミング	クリアタイミング	メモリキー	説明	例
連携アプリ起動前 (パラメーター連携)	アプリボックス開始時	PFB/P4BA/BehaviorPath	ビヘイビアパス	biz_10030_cms-setting/.
		PFB/P4BA/InputParameter	パラメーター: 文字列 200文字	090-1234-5678
		PFB/P4BA/RunMode	起動モード: 50文字	起動モード1
		PFB/P4BA/InputTime	起動した時刻*	1497605136
連携アプリ終了時 (パラメーター受領)	Advanced アプリ復帰時	PFB/P4BA/OutputParameter	戻り値: 50文字	正常系 0

3.例外・エラー対応

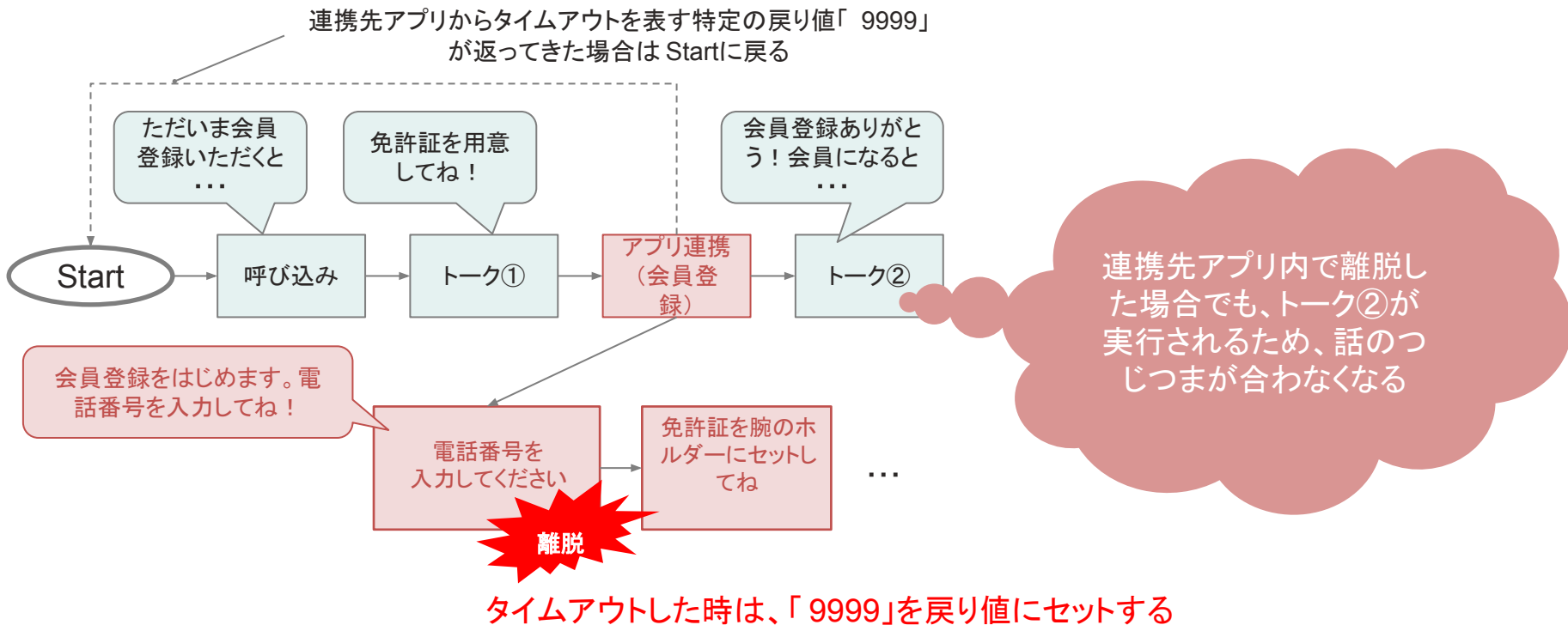
3-1.タイムアウト対応

- 現象

公式アプリボックス、ベンダーアプリボックスを連続して配置する場合、別アプリ起動時にタイムアウトした時でも後続のボックスが実行されてしまい、不自然な挙動になる場合があります。

- 対応

タイムアウトした場合は「9999」を戻り値として設定してください。
(お仕事かんたん生成2.0側でStartに戻るようになっています。)



4. 依賴事項

4.依頼事項

- 下記2点のご対応をお願いいたします。

1. 公式アプリで利用できるよう対応(動作確認・ロボアプリ改修・テスト等)をお願いいたします。

<対象ロボアプリ>

ロボアプリマーケットで販売中のロボアプリ

2. SBRアカウント取得をお願いいたします。
取得後、下記ご連絡ください。
(お仕事かんたん生成2.0のデモIDを発行いたします。)

<連絡先>

Pepperパートナー会員事務局

SBRGRP-ppp-info@g.softbank.co.jp

ペップレでのカスタマイズ提案

ペップレならではの機能を組み込みエンハンスすることで
リーチ数増や利便性を高めることが可能です。

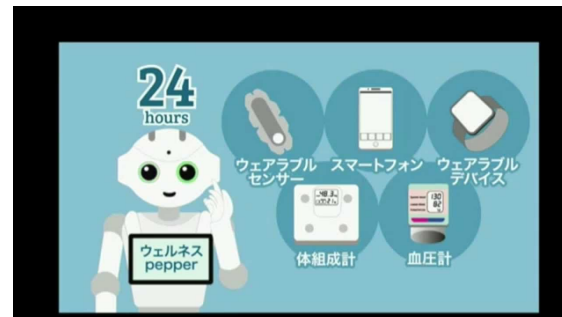
体験版モード

ダイレクト起動

最適テンプレの
エクスポート



体験版として機能制限起動



パラメータを指定して、直接指定したプレゼンを起動



2.0とペップレの相互移動を実現したテンプレをお客様に提供